
赤 潮 情 報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
平成 21 年 8 月 19 日

八代海赤潮情報No.5

[1] 8月18日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において有害種は確認されませんでした。

出水～桂島付近で、微細藻類、珪藻類によるとと思われる着色域が確認されました。

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で26.8～28.4℃で同年同時期並、塩分は31.8～32.6で透明度とともに同年同時期よりやや高めとなっています。

水 温（表層）：平均 27.6℃ (27.6℃)

塩 分（表層）：平均 32.2 (31.2)

透明度 : 平均 9.5m (8.2m)

()はH元～H20年までの8月の平均値（同平年値）

[2] 今後の赤潮発生の予想

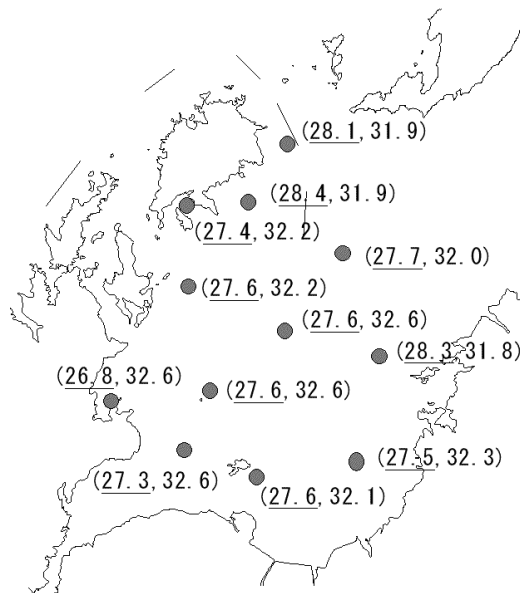
8月13日付けでシャトネラ アンティーカ、コックロディニウム ポリクリコイデスに関する赤潮警報を解除したところですが、今回の調査では、これらや他の有害種は確認されませんでした。なお、熊本県も18日付けで全ての赤潮警報を解除しました。

また今回の調査では、微細藻類、珪藻類によるとと思われる着色域が確認され、同日の熊本県による調査でも同様の着色域が確認されていることから、八代海で有害プランクトンが消失した後、競合する珪藻類が優先してくる兆しではないかと考えられます。このまま珪藻類が増殖傾向であれば、今後、有害種による赤潮発生の可能性は低いものと推察されます。

しかし海況、天候次第では、有害種が再度増殖する可能性もありますので注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により十分な監視を行って下さい。

次回調査は9月1日の予定。



(表層水温(℃), 表層塩分)



微細藻類、珪藻類によるとと思われる着色域

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>